

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Gripキッズ馬橋校		
○保護者評価実施期間	2026年2月2日		2026年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2026年2月10日		2026年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	週替わりの活動プログラムが固定化されないよう工夫されている。	1年間の行事計画・活動計画を立て、活動が被らないようにしている。	さまざまな発達段階にあるお子さん全員が楽しく取り組めるよう、職員の専門性や得意分野を生かした活動プログラムを提供していく。
2	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている。	1年間の行事予定表を配布している。1か月に1回、活動の様子の写真を入れたお便りを発行している。また、リタリコ発達ナビ内のブログを1週間に1回更新している。	引き続き、写真入りのお便りやブログにて情報を発信していく。
3	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧に説明をしている。	契約に1時間～1時間半ほどかけ、詳しく内容を説明している。	主に管理者が対応している。引き続き、丁寧な説明を心掛けていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていない。	男児の利用が多い日や高学年(中高生)が多い日は狭く感じる事がある。	体操などのアクティビティの時はテーブルやイスを動かし、スペースを確保。余暇時間でも激しめの遊びを見かけたら声をかけて、別の遊びに興味を移すなどの対応をする。
2	家族に対してペアレントトレーニングや家族等も参加できる研修会が少ない。	ペアレントトレーニングを実施できる職員数が少なく、現状開催が難しい。	保護者の要望に応じて適切に対応していきます。
3	保護者会等の開催されない。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていない。	スケジュール調整が難しく、現状としては開催が難しい。	保護者の要望に応じて適切に対応していきます。